

ホームホスピスの新しい仲間

宝塚つ・む・ぐの家（兵庫県 宝塚市）

ホームホスピス「宝塚つ・む・ぐの家」は2018年11月にオープンしました。家という空間のもつ不思議な力と、とも暮らしの中で…ご利用者様が見せてくれる優しさや笑顔に喜びを感じます。

できなかつことができるようになつたり、消えそうな命が復活して感動することも。

9か月経った今、ホームホスピスはこうあるべきという気負いは薄れ、何気ない生活が続していくということ。その1日を大切にしていきたいと感じています。（西野 マリさん）



もくれんの家（鹿児島県 日置市）

「もくれんの家」は鹿児島県の西部日置市に2019年4月に開設いたしました。開設して4か月が過ぎ、日々様々なことが起こります。

そんな中、住人さんの笑顔を力に変えて「共に暮らす・その人らしくを支える」を念頭に、スタッフ全員、知恵と力を合わせて乗り越えています。様々な方々からご支援をいただき成長しております。その縁・想いを大切に。（河野 博美さん）



しおり 風の栄（大阪府 大阪市）

ホームホスピス「風の栄 高殿」は、2018年12月に大阪市北部の旭区にオープンしました。全てが初めてで、戸惑つたり驚いたりと悩みながらも住人さん、家族さん、主治医、看護師ボランティアさんと周りの方々に助けられながらのあつという間の8ヶ月でした。

家族さんのことばに「やつて良かった」と思え、スタッフの団結感も生まれがんばっています。（松澤 ミサホさん）



徳島とも暮らしの家ふくい（徳島県 小松島市）

2004年に市民ホスピス活動から派生した、「ホームホスピスかあさんの家」に出会いました。行政にいたときは、住民の力を信じることができなかった私ですが、市原さんたちの市民ホスピス活動の活き活きとした市民力に感動しました。

「徳島とも暮らしの家ふくい」は、小松島市の開かれたよろず談話室として、看取りの文化をとりもどすための啓発、コミュニティの再生の一翼を担えればと思います。（五反田 千代さん）



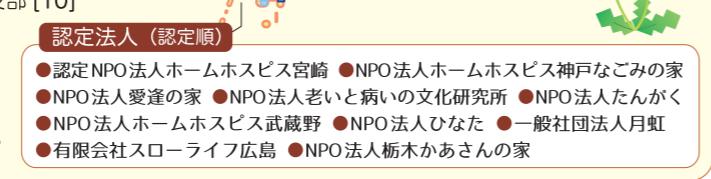
全国ホームホスピス協会の会員について

2019年9月1日現在の会員数やホームホスピス運営法人数、軒数、認定数などをお知らせします。

- 団体正会員 [42] 個人正会員 [7] 準会員 (※1) [4] 賛助会員 [55]
- ホームホスピスを開設している法人数 [44]
〈支部毎の法人数〉東日本支部 [8] 関東支部 [7] 西日本支部 [19] 九州支部 [10]
- 全国で開設しているホームホスピス（家）の軒数 [57]
- 認定ホームホスピス (※2) 法人数 [10] →右の枠内

※1 ホームホスピス実践リーダー養成研修を修了して開設準備中の会員です。

※2 開設後2年以上のホームホスピス（法人）が審査（レビュー）を受けて認定されます。



海外のホームホスピス事情（ハワイ）

米国では、ホスピスは施設のことではなくホスピスケアを提供する「ホスピスサービス」のことであり、サービスが提供される場所は、自宅、施設、病院とさまざまです。「ホスピスケア」とは、医療サービスのひとつで、対象患者（2人の医師が余命6ヶ月以内との判断をした）と認められれば、費用は公的な医療保険で全額賄われます。

しかし、日本の介護保険に相当する公的な保険はなく、生活支援に関わる費用は、民間の保険を利用するか自費で賄うしかありません。

経済的に自己負担が厳しい方、または認知症で英語での会話が難しくなったハワイ在住の日本人のために、「ナゴミ・フォスター・ホームズ」代表の三浦 佳代子さんは、和風の民家を借りてホームホスピスと同様のサービスを実施し、入居者の生活支援費などをなるべく寄付で賄うように活動しているいらっしゃいます。

また、ハワイにはホスピスサービスを受けられる施設「ケアホーム」があり、民家を活用していることが多く、定員はホームホスピスと同じく5人で、やはり家族（家庭）の人数が基本になっているようです。

スキルアップ研修

団体正会員のうち、リーダー養成研修を修了して開設しているホームホスピス及びフォローアップ研修を修了しているホームホスピスを対象に「スキルアップ研修」を始めました。

これは、他のホームホスピス（現在は協会指定の6法人及び協会事務局）を選択して研修者を派遣して研修する、または、指導者派遣を要請し、自らのホームホスピスで指導を受けるもので、ケアや事務などについて、より具体的に学ぶプログラムです。

研修者には、往復の旅費と研修先に支払う研修料を協会が補助いたします。

研修の期間は、2日～2週間程度で、内容や研修希望先の事情によって調整いたします。

スキルアップ研修を受けたい方は、ご希望の時期、研修を受けたい方の情報、学びたい内容などを申請していただきますので、所属法人を通じて協会事務局にお申し込みください。



宮崎の「かあさんの家」で研修中の後藤さん（中央）
（越谷市の「ホームホスピス晴れる家」所属）

第3回 ホームホスピス実践者育成塾 で新しい試みを！

モーニングギャザリング 朝の交流タイム



今期の育成塾は、6月15日～16日に東京中野の明治大学で総論を、7月10日～13日に伊勢市の神宮会館で各論を開催しました。

今回の総論では、4月から順次施行が始まった「働き方改革法」への対策について社会保険労務士の方に講義をお願いしたり、実際にホームホスピスの建物設計に携わっている建築設計士の方に住まい選びの留意点などをお話ししたりと、実務寄りの内容が加わりました。

また、懇親会が設定されている各論と違い、総論では緻密なタイムスケジュールの中、なかなか交流の時間が持てないという声を反映して、今回新しく、総論2日目の講義開始前に、1時間限定の「モーニングギャザリング」を導入しました。

参加者の方々は、飲み物を片手にテーブルを渡り歩きながら、他の参加者と熱く語り合い、皆さんの熱気で室温も上がり、空調のパワーが間に合わないほどでした。

【各論3日目のワークショップ講師 奥村 玄さんからひとこと】

ホームホスピスの運営に携わっているみなさんは、出会いのはじめから真剣勝負ですぐに間合いがグッと詰まるのだけれど、それがどれほど温かく心地良いのかは、なかなか言い尽くせません。

その絶妙さはワークショップにおいても威力を發揮します。呼吸の合わせ方でしょうか、気配の感じとり方でしょうか。「生きる」ことの本質に迫りながら、おおらかでしなやかな感性に溢れるプレゼンテーションでした。3日間、ありがとうございました。

【奥村 玄：(株)GENプランニング 代表】

今期に各支部で開催した研修会

今期も支部の活動として、各地で研修会が開催されました。



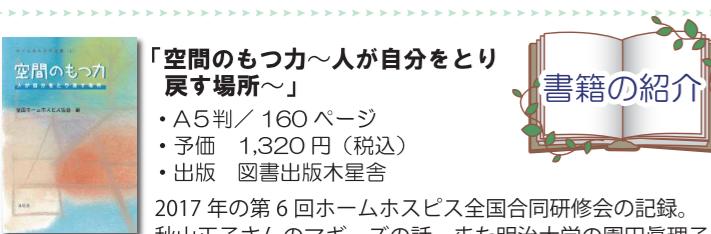
- 関西支部
【テーマ】ホームホスピスと緩和ケア
【会場】ラッセホール（神戸市中央区）
【期日】2018年11月23日（金）
【講師】新城 拓也 氏（しんじょう医院院長）
佐藤 由美子 氏（米国認定音楽療法士）
協会理事（市原、松本）
【参加数】約200名（スタッフ含む）



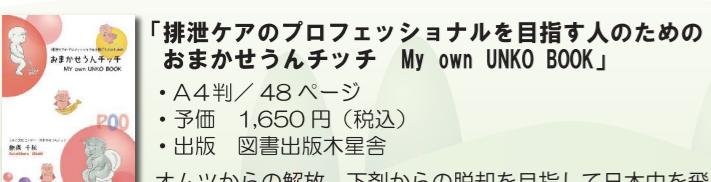
- 東日本支部
【テーマ】ホームホスピスと地域の力
【会場】福島看護専門学校（福島市栄町）
【期日】2019年7月20日（土）
【講師】鈴木 典夫 氏（福島大学教授）
鈴木 信行 氏（鈴木医院院長）
協会関係者（市原、松本、茂木）
【参加数】約150名（スタッフ含む）



- 九州支部
【テーマ】百まで生きる覚悟
【会場】熊本保健科学大学（熊本市北区）
【期日】2019年9月7日（土）
【講師】春日 キヨ 氏（臨床社会学者）
協会理事（市原、竹熊）
【参加数】約100名（スタッフ含む）



2017年の第6回ホームホスピス全国合同研修会の記録。
秋山正子さんのマギーズの話、また明治大学の園田真理子先生、伊藤明子さん（当時・国土交通省住宅局長）のプレゼンテーションを含めたシンポジウムなど、豊かな学びの時間を再現しました。



オムツからの解放、下剤からの脱却を目指して日本中を飛び回っている柳原千秋さんの初のワークブックです。
副題に「My own UNKO BOOK」と付いていますが、この一冊を十分に使いこなし、自分のものにすることで現場力はぐんとアップ。

